

令和2年度 宮城県古川高等学校 「志教育」年間指導計画

3つの視点			かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす		
各教科指導目標	国語	◎				地理歴史	◎	○	公民	◎	○	◎	数学	○	○	理科	○	○	
	「なぜ学ぶのか」ということを念頭におき、広く基本的な知識を習得し、学習内容の将来への結び付きを意識した活動を行う。また、伝え合う力を高め、それが平和な国際社会成立に不可欠であることを理解させる。			我が国の歴史・文化・生活についての理解と認識を深め、平和で民主的な国家形成者として有為な人材の育成を目指す。			国際社会の中に生きる日本国民として、現代社会について考察させ、平和で民主的な社会の形成に貢献しようとする態度を育成する。			主体的に考える力を育てるため、発問を工夫し生徒自身が考える時間を作る。与えられた問題を解くだけでなく、様々な事象に好奇心と疑問を持ち、事象を数学的に考察し、発見できる生徒の育成を目指す。			理科における様々な実験や実習を通して、物事に対して多角的な視点や疑問を持ち、解決しようとする姿勢を育む。 実生活の中に見られる具体例を積極的に提示することで、理科を自分自身の「生」そのものであると捉えさせ、科学が生活に果たしてきた役割を自覚させる。						
各教科指導目標	保健体育	○	○			芸術	○	○	外国語	○	○	家庭	○	◎	情報	○	○		
	主体的な学習態度を身に付けさせ、ルールやマナーを遵守する態度や、公正・協力・責任・参画などについての理解と意欲を高める。また、生涯にわたって健康の保持増進に努め、明るく豊かな家庭や社会を作り上げる態度を育てる。			生徒の個性を生かした創造的な活動を行い、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、豊かな情操を養う。芸術としての音楽を理解し、音楽文化についての理解を深め、芸術を通して豊かな社会を作ろうとする意欲を育てる。			英語を通してのコミュニケーション能力を高めると同時に、様々な社会問題に関心を持ち、国際的視野で理解・判断する能力を高め、国際社会に貢献できる人物を育成する。			自己、家庭、社会とのかかわりについて理解させ、生涯の見通しをもって、よりよい生活をおくるための知識と技術を習得させる。また、社会の一員として主体的に家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。			情報に関する正しい知識を身に付けさせ、情報技術を適切に活用する能力を養う。社会の情報化の進展に主体的に対応し、豊かで安全な社会を構築しようとする資質を育てる。						
学年共通						かかわる	もどめる	はたす	各学年指導目標										
指導内容	① 古高生としての品位の確保	○	○	◎	1年	・入学後の初期指導によって信頼できる人間関係作りを行う。 ・学問研究や職業研究によって学ぶことの意義と社会への貢献を考える。 ・ボランティアなど自発的な奉仕活動や地域貢献を促し、社会につながる実感を持たせる。													
	② 家庭学習時間の確保	○	○	○		2年	・学習活動・特別活動を通して、社会の構成員であるという自覚を深めさせる。 ・自分の未来に一定の方向性を見出せる生徒の育成を図る。 ・社会をより深く知るための講演会や先輩の話聞く会などを計画的に実施する。												
	③ あいさつの励行・清楚な身だしなみ	○	○	◎	3年		・進路希望実現への具現化(計画立案、到達目標設定)を行う。 ・面談活動によって進路実現に際しての取り組みべき課題を明確に意識させる。 ・確かな学力を身に付け、進路希望の実現に向けて不断の努力を惜しまないたくましい生徒の育成を図る。												
	④ 進路希望実現	○	○	◎			1年	・入学後の初期指導によって信頼できる人間関係作りを行う。 ・学問研究や職業研究によって学ぶことの意義と社会への貢献を考える。 ・ボランティアなど自発的な奉仕活動や地域貢献を促し、社会につながる実感を持たせる。											
	⑤ 読書習慣の確立	○	◎	○		2年		・学習活動・特別活動を通して、社会の構成員であるという自覚を深めさせる。 ・自分の未来に一定の方向性を見出せる生徒の育成を図る。 ・社会をより深く知るための講演会や先輩の話聞く会などを計画的に実施する。											
	⑥ 清掃活動の徹底	○	○	◎			3年	・進路希望実現への具現化(計画立案、到達目標設定)を行う。 ・面談活動によって進路実現に際しての取り組みべき課題を明確に意識させる。 ・確かな学力を身に付け、進路希望の実現に向けて不断の努力を惜しまないたくましい生徒の育成を図る。											
指導内容								ねらい			指導教科等			実施時期		時数		かかわる	もどめる
1年	進路オリエンテーション		学習習慣・意識・生活状況を振り返り、高校生活のスタートにあたっての目標を立てる。			特別活動			4月		2		○	○					
	上級生からの話		先輩の経験談を聞き、自分の進路について考えを深め、進路目標設定の参考にする。			学年行事			3, 4月		2		○	○					
	職業研究		自己を理解し、様々な職業の情報を集め、自らの生き方を探求する。			総探			5, 12月		6		○	◎					
	オープンキャンパス訪問		総合大学を訪問し、学部学科についての理解を深め、進路目標設定の参考にする。			学年行事			7月		4		◎	○					
	進路講演会		さまざまな分野の一流の社会人の話を聞き、将来の進路についての理解を深める。			総探			6, 10, 3月		6		○	○					
2年	進路オリエンテーション		自分の未来に一定の方向性を見出すため、進路希望実現への計画を立てる。			総探			4月		1		○	◎					
	震災学習		東日本大震災について調べ、被害の甚大だった地域を実際に訪れ、理解を深める。			学年行事			4・5月		12		○	○	◎				
	進路集会		希望進路と進路希望実現のための計画を確認し、進路意識の高揚を図る。			学年行事			7月		1		○	◎					
	オープンキャンパス訪問		希望進路先を訪問し、進路についての考えを深め、進路希望絞りこみの参考にする。			学年行事			7月				◎	○					
	課題研究		地域や現代社会における課題の解決策を探究することを通して、自分と社会との関わりについて考え、自分の進路希望を明確にする。			総探			7～3月		25		○	◎					
3年	進路講演会		さまざまな分野の一流の社会人の話を聞き、将来の進路についての理解を深める。			総探			6, 10, 1月		6		○	○					
	進路学習		希望進路先の志望理由書を書くことにより、適性を再認識し、進路意識を高める。			総学			5月		2		○	○					
	オープンキャンパス訪問		希望進路先を訪問し、最終希望進路設定の参考にする。			学年行事			7月				◎	○					
	実践講座		それぞれの進路に応じた課題に取り組み、進路目標達成の実力を養成する。			総学			6～12月		12		○	○					
											合計時数		79						